

## 工事概要

建物位置： 富山県富山市杉谷2630番地（富山大学杉谷キャンパス）

### 【工事概要】

【厨房棟】：増築  
【中央診療棟】：厨房棟接続部改修  
【北病棟】：手術室増設に伴う改修

建築面積： 943.90㎡（厨房棟のみ）

延床面積： 1,710.41㎡（厨房棟のみ）

階数： 地上3階（厨房棟）

構造： 鉄筋コンクリート造（厨房棟・中央診療棟）  
： 鉄骨鉄筋コンクリート造（北病棟）

基本計画： 富山大学施設企画部

実施設計：【建築】（株）綜企画設計  
【設備】（株）新日本設備計画

工事監理： 富山大学施設企画部

施工：【建築】林建設（株）  
：【電気設備】北陸電気工事（株）  
：【機械設備】北陸電気工事（株）

工期： 令和2年2月～令和3年1月

総工費： 1,015,190千円（税込）

（設計費込み）

## 富山大学附属病院厨房棟新営その他工事 （中央診療棟改修・北病棟改修）を含む

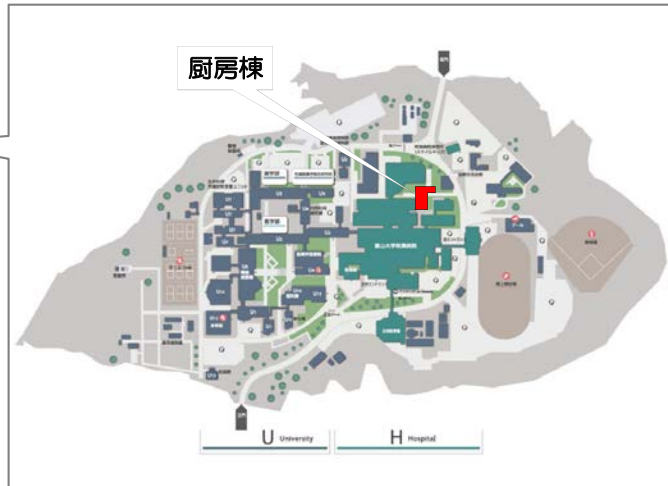
### 計画概要書



### 杉谷キャンパス



杉谷キャンパス 配置図



杉谷キャンパス 配置図

## 工事計画の概要

病院再開発の一環として、入院患者に対する食のサービス向上を図り、衛生環境の整備と最新の調理器具導入を目的に、厨房棟を増築する整備計画を行った。

実施にあたっては、厨房部をドライシステム化し、安心安全な食事が安定して提供可能なよう衛生面に配慮するとともに、調理動線等の見直しを行い調理師等の業務環境改善を図っている。

また、手術件数増加への対応のため、手術室の増室改修（2室）を実施した。これらのことから、地域医療の担い手として、病院の機能強化を図っている。

## 期待される効果

### ◆病院食の提供の効率化

ニュークックチルシステムの導入、厨房機能の集約化による動線の1本化により、患者への食の提供や調理の平準化が期待できる。

### ◆汚染の拡散防止

厨房のドライシステム化により、水はねによる汚損や有害菌の増殖が抑えられ、食中毒のリスク回避が図れる。また、1、2階の衛生区分が明確化されたことで、相互の汚染防止が徹底できる。

### ◆災害拠点病院としての機能確保

地震時における災害拠点病院としての機能確保のため、設計時に施設の重要度係数を1.5として耐震性の確保を行っている。

### ◆病院経営の健全化

手術室が2室増室されることで、増加する手術件数への対応、病院経営の健全化が期待される。

## 特色ある施設整備

### 【省エネルギー】

- ・全館LED照明を採用。
- ・各更衣室・廊下は人感センサーにて照明を制御。



1階調理師更衣休憩室の写真



栄養管理室の写真



便所、手洗いの写真

### 【安全対策】

- ・ピロティ部分は非常時に緊急車両が通れるよう十分に高さを確保している。

- ・非常時に避難しやすいよう2階部にバルコニーを設けている。

- ・廊下部分等には手すり、カートガードを設置



ピロティの写真



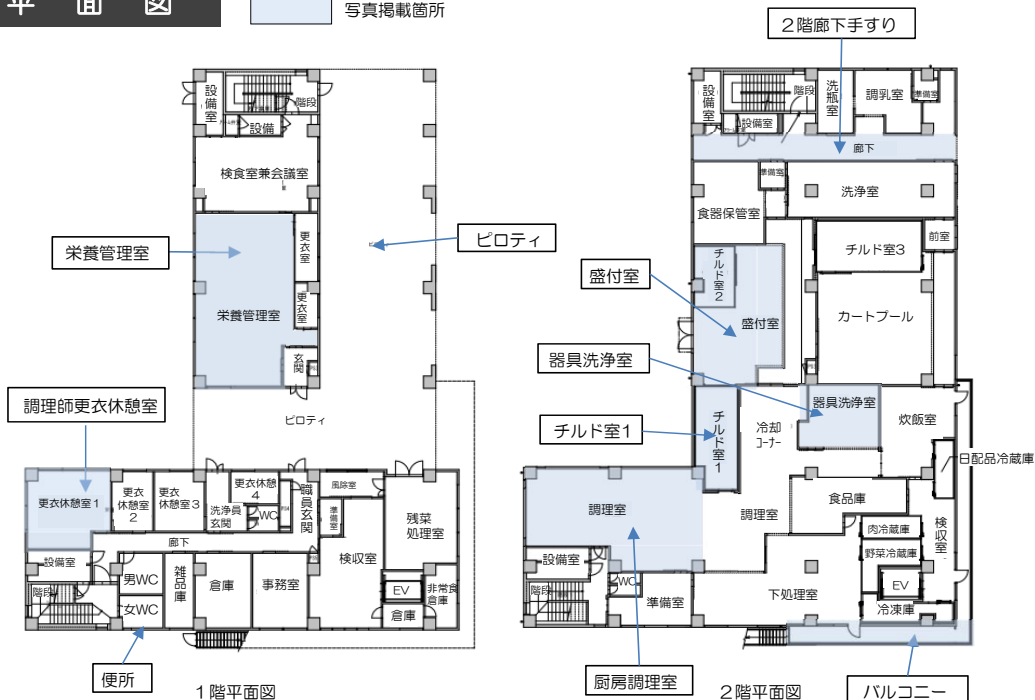
バルコニー写真



手すり写真

## 平面図

写真掲載箇所



## 建物外観・内観



外観写真



厨房調理室写真



器具洗浄室写真



厨房チルド室写真



厨房盛付室写真



手術室写真